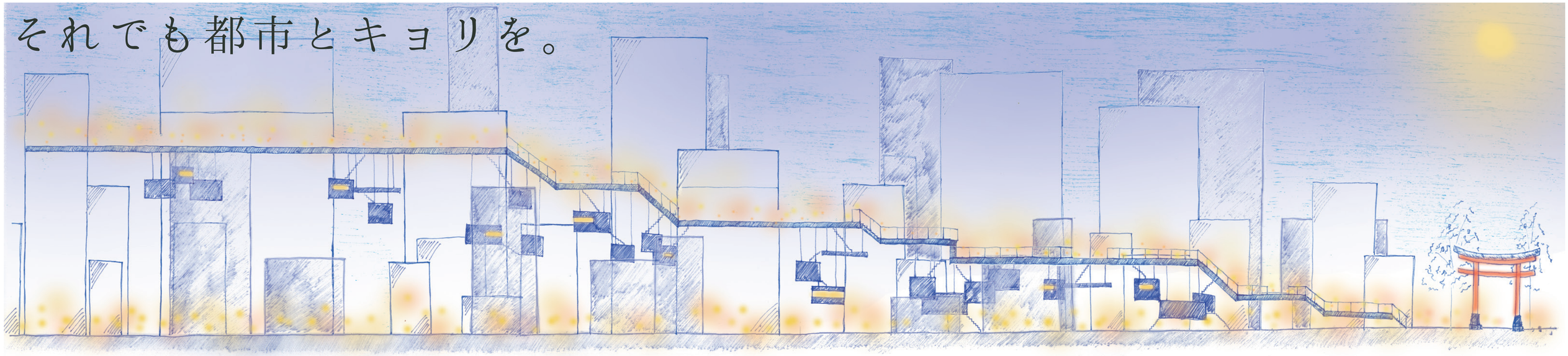
それでも都市とキョリを。



1. 祝祭都市「大宮」

埼玉県さいたま市大宮区
およそ 2400 年の歴史を持つ大宮には古くからの祭り事が多く存在しまつりに親しんだ土地である。その多くが氷川神社で行われる。また近年、さいたまスーパーアリーナでのライブやイベント、鉄道博物館を中心に行われる鉄道の街大宮ならではのイベントが多く開催されている。
大宮は毎年本当にたくさんのひとが訪れてにぎわいに満ちた街に変貌します。

2. エキナカ、駅ビルの出現

2007 年「鉄道の街 大宮」の象徴する「鉄道博物館」の完成と同時期にエキナカ「エキュート 大宮」が開業し、21 世紀における「鉄道の街」としての地位を確立した。しかし、エキナカ、駅ビルが出現したことにより駅から人が降りてこず、駅に客が吸い寄せられるという問題が発生することになる。大宮駅前の商店は衰退の一途を辿ることになる。

3. 祝祭の軸

現在、大宮氷川神社⇄さいたまスーパーアリーナは氷川参道という象徴的な軸により結ばれ、祝祭時には屋台が立ち並び大宮を訪れた方々を出迎える祝祭空間へと変貌する、まつりの予感を常に感じさせる空間である。
しかし、大宮のまつりの象徴的な「大宮氷川神社」と大宮駅を結ぶ空間はまつりの雰囲気を感じさせない均質化した退屈な空間が続き、祝祭時にも店を閉め、せっかくの祝い事を台無しにしている。

▽氷川参道

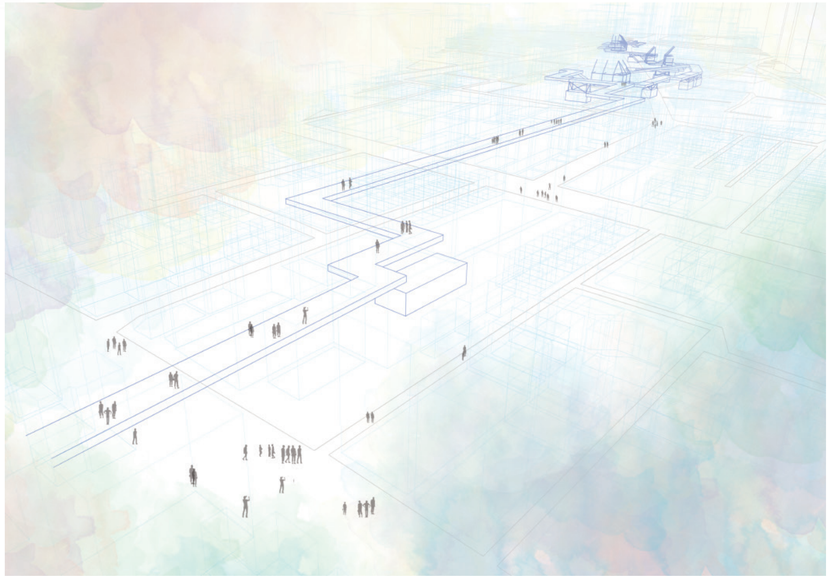
▽十日市 @ 氷川参道

▽大宮駅⇄氷川参道 間

▼

大宮駅から氷川参道へとつながる道を再編し、「祝祭の軸」を作り上げる。祝祭時に大宮全体に祝祭空間が創出される。人々は集い、「まつりの街 大宮」へと進化していく。

駅ビルと氷川参道を繋ぐ新たな軸の提案

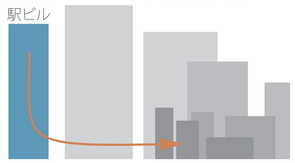


4. ダイヤグラム

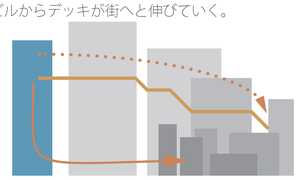
01.5 層以上の建物をプロットしていく

02. 建物を祝祭の軸を縫うようにデッキを繋いでいく

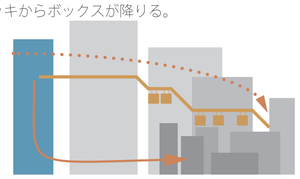
03. 駅ビルから街へは 1 階に降りる必要がある



04. 駅ビルからデッキが街へと伸びていく。

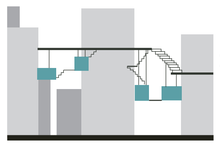


05. デッキからボックスが降りる。



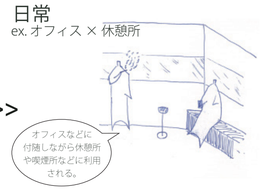
5. プログラム

タイプ : 高



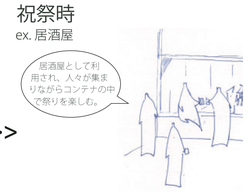
>>>

日常
ex. オフィス × 休憩所

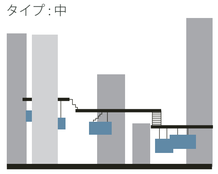


>>>

祝祭時
ex. 居酒屋



タイプ : 中

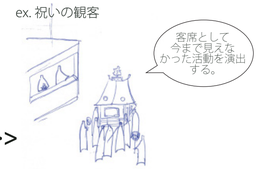


>>>

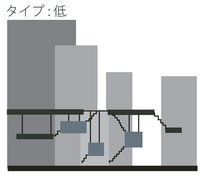
ex. 貸コンテナ × 美術展等

>>>

ex. 祝いの観客

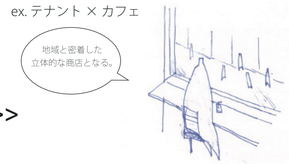


タイプ : 低



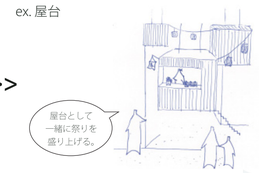
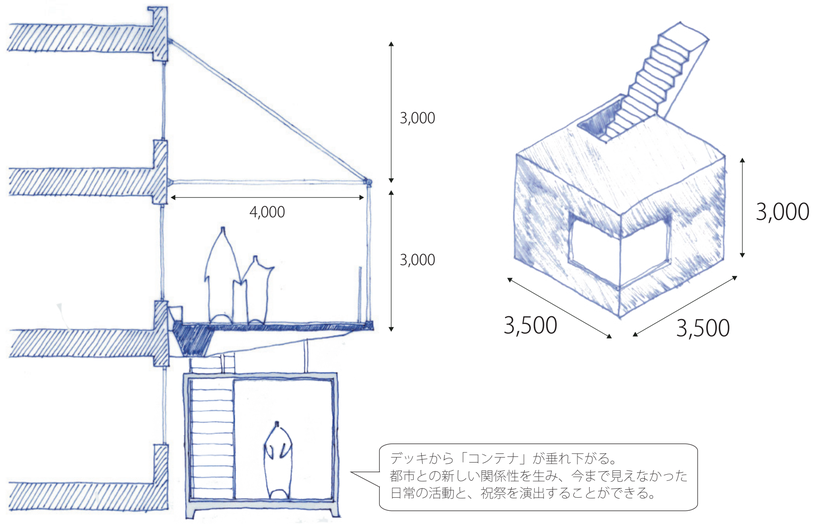
>>>

ex. テナント × カフェ



>>>

ex. 屋台



6. 詳細図面